

## 住宅の気密性能試験結果(1)

依頼者	会社名又は氏名	華建業株式会社	電話	0748-32-8715
	住所	滋賀県近江八幡市出町162-2		

測定対象建物の概要		
建物の名称	邸 新築工事	
所在地	滋賀県彦根市	
竣工年月日	2019	
構造及び工法	在来木造工法	
建物の規模	地階床面積	- m <sup>2</sup>
	1階床面積	96.05 m <sup>2</sup>
	2階床面積	- m <sup>2</sup>
	3階床面積	- m <sup>2</sup>
	延べ床面積	96.05 m <sup>2</sup> (A)
開口部の仕様	窓	単層(付透い・外開き・内開き)
	玄関戸	外開き戸
主な部位の気密層の仕様		
建物概要図	別紙添付図面の通り	
通気量を測定した位置	透付平面図に示す	

測定時の建物条件				
No.	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック施錠)だけ	○	
2	天井・床下取れ口	普通に閉めた状態	○	
3	軒先受け	普通に閉めた状態	○	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している 地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉または目張り	なし	
7	台所レンジファン	シャッター閉または目張り	なし	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉または目張り	なし	
9	FF式以外の透窓の穴	ダンパー閉または目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気 ダクトの屋外側出入口	テープ処理または目張り	○	
12	建物外皮の外側にあり開口部	普通に開けた状態	なし	
測定対象外にした部分(空間)の名称				
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積		- m <sup>2</sup> (B)		
吹抜け・床下・小室などの測定対象の相当床面積		41.56 m <sup>2</sup> (C)		
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)		S = 137.61 m <sup>2</sup>	S = (A) - (B) + (C)	
測定対象とした建物の外皮内容積(V <sub>i</sub> )		V <sub>i</sub> =	m <sup>3</sup> (換気係数を求めるときに記入すること)	

(注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付けること

## 住宅の気密性能試験結果(2)

第 新築工事

測定者・測定方法・測定装置							
事業所	株式会社アーパックス	事業所登録番号	1506	測定者	高橋 宏	登録番号	07293-21
所在地	東大阪市吉田本町2-3-30				電話番号	072-962-3787	
測定方法	JIS A 2291「透風機による住宅等の気密性能試験方法」による（風圧法） 質量および圧力差の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った。						
測定装置	コーナー札幌株式会社 KNS-2500C型						

試験日時	2019年1月18日 12時30分						
測定時の環境	天候	晴れ		風速	m/s (参考)		
	室内温度	8.6 ℃		風向	(参考)		
	外気温度	9.4 ℃		風速測定位置	(参考)		
				気圧	hPa (参考)		

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: $\Delta P$ (Pa)	28.6	39.9	50.3	60.2	68.8					
透気量: $Q$ (m <sup>3</sup> /h)	44	65	72	89	106					

隙間特性値: $n$ ( $1 < n < 2$ )	1.03
透気率( $\Delta P=1Pa$ 時の透気量): $a$	1.7 m <sup>3</sup> /h・Pa <sup><math>n</math></sup>
$\Delta P=9.8Pa$ における透気量: $Q_{9.8}$	15.6 m <sup>3</sup> /h
係数: $b$	0.791
総相当隙間面積: $a \cdot A$ (cm <sup>2</sup> )	11 cm <sup>2</sup>
相当隙間面積: $C$ (cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> )	0.1 cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>

